



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、沖縄プログラム第3陣）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より高校生22名および引率者3名が、2017年1月17日～24日の7泊8日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。省庁講義、歴史的建造物視察、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした、帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

アメリカ 25名（プレザントバレー高校）

【訪問地】

東京都、沖縄県

2. 日程

- | | |
|----------|--|
| 1月17日（火） | 羽田国際空港より入国 |
| 1月18日（水） | 【オリエンテーション】
【講義】外務省北米局「日本の外交政策」
【歴史的建造物】皇居
沖縄県へ移動 |
| 1月19日（木） | 【歴史的建造物】首里城
【歴史関連施設】沖縄県平和祈念資料館、平和祈念公園
【文化体験】エイサー体験 |
| 1月20日（金） | 【学校交流】沖縄県立球陽高校
【ホストファミリー対面式】 |
| 1月21日（土） | 【ホームステイ】 |
| 1月22日（日） | 【ホームステイ歓送式】
【ワークショップ】 |
| 1月23日（月） | 東京へ移動
【報告会】 |
| 1月24日（火） | 【歴史的建造物】浅草
【歴史的建造物】明治神宮
羽田国際空港より出国 |

3. プログラム記録写真

東京都



1/23 【報告会】（東京都）



1/24 【歴史的建造物】浅草（東京都）

地方プログラム（沖縄県）



1/19 【文化体験】エイサー（那覇市）



1/19 【歴史関連施設】沖縄県平和祈念資料館（糸満市）



1/19 【歴史関連施設】平和祈念公園（糸満市）



1/20 【学校交流】沖縄県立球陽高校（沖縄市）



1/22 【ホームステイ歓送会】（沖縄市）



1/22 【ワークショップ】（沖縄市）

4. 参加者の感想

◆ アメリカ 高校生

私は日本の学校や家族は保守的で物静かだと思っていました。しかし、球陽高校での学校交流や6人家族の家庭でのホームステイを通してその認識は変わりました。球陽高校は多彩で快活な学校です。学生は保守的ではなく、豊かに自己表現していました。6人家族のホストファミリーに関しては、最初どのような暮らしなのか、想像がつきませんでした。子供が4人いることは、普通の家庭とは異なるのかと思っていましたが、家族はとても仲が良く、親切で、素晴らしい家庭でした。ホームステイや学校での経験は素晴らしく、日本人に対する印象が変わりました。彼らは面白く、よく笑い、アメリカ人と共通するものを感じました。来日するまで KAKEHASHI プロジェクトは「日本について学ぶプログラム」程度に思っていたのですが、参加してみて、このプログラムが国と国との架け橋となり、平和に貢献するものだという真の意味を理解できました。

◆ アメリカ 高校生

外務省での講義はとても勉強になりました。私はこれまで、日本がこれほど平和な国であるということを知りませんでした。学校交流もとても面白かったです。数学は米国で学んでいるものと変わりなく、すぐに慣れることができました。沖縄での第二次世界大戦に関する講話はとても素晴らしかったです。彼や沖縄の人たちの人生がこれほどに壮絶なものだったとは知りませんでした。ホームステイはとても楽しい経験でした。ホストファミリーはよい家庭で温かくもてなしてくださいました。ホストファミリーと一緒にいった、水族館やラーメン店は忘れられない思い出です。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流先高校生

KAKEHASHI Project を通して、今まで本場の英語を CD や TV でしか聞くことのできなかった生の英語を聞くことができ、素晴らしい経験となりました。アメリカの人の優しさに触れることができたのと同時に、日本とアメリカとの相違点を見つけることができ、自分の国を見つめ直す良い機会にもなりました。バディとも、相互交流を通して交流を深めることができ、これからもお互いの国について発信し続けたいと思います。

◆ 学校交流先高校生

KAKEHASHI Project に参加して、他国の学生と交流することができ、様々な事を経験することができました。お互いの国に行くことで、異なる文化や言語をより深く学ぶことができ、交流を深めることができました。このプロジェクトで学んだことを、SNS で発信していくとともに、国際社会に役立てていきたいです。

6. 参加者の対外発信



Michelle Martin @sramartinsensei - 1月22日
#kakehashi2016 #球陽高校 we will miss you but look forward to seeing you again!
pic.twitter.com/TW0IBhVPye



Michelle Martin @sramartinsensei - 1月27日
#kakehashi2016 thank you for an amazing experience. #球陽高校 #pvjapanese
pic.twitter.com/nUTeCBYzEF

学校交流についての発信

また会えることを楽しみにしています！

報告会についての発信

素晴らしい経験をありがとう

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

IV. Our Action Plan (Actions to be taken) ... When you return home, implement your Action Plans!

@Project Title: Kakehashi Technology Promotion Project

WHY: (Reasons to do it)

- Encourage family and friends to come to Japan
- Clear up misconceptions around Japan
- Show the unique culture of Japan and their outstanding hospitality

WHAT: (What are you planning on doing)

HOW: (How will you implement your plan)

We plan to put together a video series on our experiences and life in Japan. By doing so, we hope to provide an interesting medium for people to learn about Japanese culture. We also plan on putting all the information and lessons we learned on a website so that anyone in the world is able to see what we saw. As for our social media blitz, everyone will post at least once a week to any form of Social Media.

アクション・プランの発表

日本で経験したことや日本での生活の様子を動画のシリーズで発信していく。この発信により、日本について知りたい人の助けになればと考えている。